オンラインで商材提案

住宅設備の延長保証など訴求

渡辺パイプ

渡辺パイプ（東京都、渡辺元社長）は、新型コロナウイルス感染拡大に対応し、業務のオンラインへのシフトを進めている。緊急事態宣言が解除されて5月26日からは通常営業を開始したが、オンラインセミナーや社内での方針説明などは「オンラインの方が投資対効果が大きく、特にセミナーなどは1つのコンテンツを作ると多くの顧客に配信できることで効率的」と渡辺圭祐副社長は話している。

渡辺　副社長

同社水とすまいの事業本部住建事業部建材開発グループでは同25日からオンラインセミナーを開始。従来は建材メーカーのショールームなどで集客して開催していたイベントが新型コロナウイルス対策で開催が難しくなったことで、オンラインセミナーを強化。当日のセミナーには取引先のうち1万2000社にメールマガジンで告知し、約1200が参加した。

同社が永大産業（大阪市、枝園統博社長）と共同開発したシステムキッチン「sus304」のコンセプトやメーカーの製造ラインなどの映像も流して、ステンレスキッチンの特徴を紹介した。

また、ワランティテクノロジー（東京都、今村末男社長）の住宅設備延長保証を紹介。同社では取引先工務店への付加価値・差別化提案として住宅設備の延長保証を推進している。渡辺副社長は「岡山県の大手ビルダーは全棟延長保証を付けて売り出したり、リフォーム会社ではサービス提案として盛り込んでいる」という。

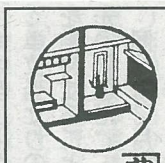
大型パネルも施工現場を動画撮影し、サトウ工務店（新潟県三条市、佐藤高志社長）が取り組む木造倉庫を紹介。工務店でも従来はS造で建てられていた物件を木造提案で受注し、大型パネルと組み合わせることで施行も可能なことを訴求する。「工務店は鉄骨造というと自分の仕事ではないという感覚になるところが多いが、戸建て住宅が減少していくなかで、非住宅分野を強化したい」（渡辺副社長）。

建材開発グループでは、今後も継続的にオンラインセミナーを開き、積極的に情報発信を行っていく。

同社では晩夏から秋口に掛けてオンラインでの大提案会を計画し、1～2日間動画を流して、興味のある分野だけを見てもらうようなイベントを計画している。

また、住建事業部では7月から小規模展示会を再開する予定で、「1回に10人くらい、1日3～4回開催のミニイベントを地方で始めたい」と石田貴則住建事業部長は話している。

社内ではオンライン会議や研修が定着しつつあり、渡辺副社長は「交通費と拘束時間でメリットがある。大勢で議論するというよりも、一方的に方針を伝える時に有効。若い所長でも中身のある話には説得力があり、個々の力が分かりやすい」と話す。


木部
銘木部
新建材部
横浜住宅機器
株式会社星
総合住宅資材センター
0467-72-2401

組合長に桑原健郎氏

"チャレンジと変革"で運営

大阪合板建材商業組合

大阪合板建材商業組合（大阪市、松尾恭伸組合長）はこのほど、新型コロナウイルス感染拡大を受けて書面表決書による「第65回定時総会」を行った。役員人事では、桑原健郎副組合長（紀洋木材）が組合長に就任した。

桑原　新組合長

また、新任の理事には、稲川雄一（協和産業）、島田博史（島田）、西英人（ジャパン建材）の3氏、新任の監事に岡茂治氏（久我市売木材）がそれぞれ就任した。桑原新組合長は「世間では今後の先行きが不透明で、大不況が始まるのかとの話も聞かれる。しかし、歴史ある当組合の活動を通して、業界に少しでも刺激を与え、新たなる展開を模索できるようにと考えている。私の運営方針は"チャレンジと変革"。できることは限りあると思うが、ご協力をお願いしたい」と書面であいさつした。

年間取扱高は3%マイナス

岐阜銘協

岐阜県銘木協同組合（岐阜市、吉田芳治理事長）は5月29日、第73回通常総会を開いて所定の議案を審議・承認した。2019年度の特別市（計12回開催）の結果は、製品・原木取扱高14億1337万円（前年度14億8737万円）で、年間を通じて銘木の購買意欲が低かったことから当初目標額の20億円を下回ったが、市売手数料の値上げや経費節減などで利益を計上した。

今回の総会は新型コロナウイルス感染症防止のため参加者を限定して行われた。20年度事業計画では、全国各地の荷主と連携して目玉商品の集荷に努めるほか、市ごとの特別企画の実施、情報機器をフル活用した情報発信、付加価値向上に向けた取り組みなどを進める。また、来年3月に開催予定の第39回銘青連全国優良銘木展示大会（銘青展）の成功に向けて組合の総力を挙げて取り組んでいく。

なお、年間取扱高は目標15億円とした。

栃木市と連携協定

トレーラーハウスデベロップメント

トレーラーハウスデベロップメント（東京都、大原邦彦社長）は、栃木市（大川秀子市長）とトレーラーハウスを通じて福祉の向上、地域活性化などを目指した連携協定を4月22日に締結した。

蔵の街で知られる栃木市は、観光事業に力を入れており、建築物扱いにならないトレーラーハウスを遊休地やイベント時に活用し、優先的に利用できる。災害時の応急仮設住宅としての利用も想定している。

同社の工場が栃木市内にあり、全国各地で利用が進んでいる。

新型コロナウイルス助け合い基金に寄付

城東テクノ

城東テクノ（大阪府枚方市、末久泰朗社長）はこのほど、「新型コロナウイルス助け合い基金」の趣旨に賛同して1000万円を寄付した。

同基金は、大阪府が医療機関や医療従事者への支援を目的に設立した。

同社は「新型コロナウイルスの一日も早い終息と、皆さまのご健康をお祈り申し上げる」と述べている。

渡辺会長ら役員留任

都木連

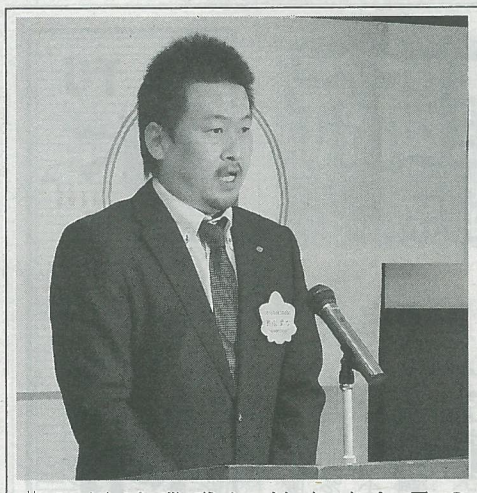
東京都木材団体連合会（渡辺昭会長）は、5月29日に第56回定時総会を開き、渡辺昭会長以下役員全員を留任とした。

総会では2019年度の事業を報告。19年10月5、6の両日にわたり「木と暮らしのふれあい展」を都立木場公園で開催。延べ7万人が参加した。

違法伐採対策事業の推進（合法木材供給事業者認定）、東京都木製材業模範従業員表彰の実施。第64回全国優良木材展示会を東京木材市場で同年10月2、3日に開いた。

所定の議案を原案どおり承認し、役員改選では渡辺会長以下役員全員を留任とした。

横顔



○…良樹木材工業（広島市）社長の朝信武士氏は今年度、第60代広島木材青年経営者協議会会長に就任した。60周年という節目に会長に就任した朝信氏は、2003年の同会入会から培った経験で「自己啓発の場」（同氏）という木青協の組織としての成長を目指す。

○…会長就任から新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していた木青協関連の行事の中止や延期が相次いでいる現状を残念がる。業界全体だけでなく世界的に困難な状況が続いているが、木青協としてもオンライン会議という初めての試みで、この難局に会員一丸で対応している。同氏は入会当初を振り返りながら「まさか自分が会長を務めるとは思わなかった。先輩方から学んだことを生かし、様々な事業を通して見識や会員相互の絆を一層育んでいきたい」と厳しい状況のなかでも、来たるべき時に備え、前を見据えて意気込む。

○…新型コロナウイルスの状況次第だが、会長として思い描く事業があるが、木青協に入社前に3年間就業したフルタニランバー（石川県金沢市、古谷隆明社長）とタイアップした視察研修を金沢市で計画する。企業訪問を石川や北信越の現地木青協と連携するような研修の構想を練っている。朝信氏は「高校卒業後、最初の3年間は右も左も分からない状態で、フルタニランバーに木材業の基礎、人間教育という様々な部分を教えてもらった。相互の木青協で連携して、何か研修ができれば」と語る。自分の原点でもある会社に会長としてのがい旋を描く。

○…今年度は広島市木材同業組合（藤居道正組合長）も70周年という節目を迎える。11月の共同での周年事業に向けて、現在準備を進めている。記念事業として、広島県と市に対して木製品の寄贈を計画しており、木材や県産材のPRにもなると考える。

○…課題である木青協の会員拡大は継続が重要であると考える。木青協OB企業など広島市内の木材関係業者を全社リストアップし、対象となる経営者がいれば、地道に声を掛けて勧誘する。木青協の魅力を分かりやすく伝えるために、活動を紹介する広報紙の作製も今後予定する。今年度は3人が卒業予定で、昨年に引き続き会員拡大をテーマにしている。

○…趣味は野球観戦。プロ野球開幕を待ち望む。仕事や木青協会長として忙しい日々が続くが、家庭では3人の子どもの父として、家族との時間を大切にしている。1981年1月23日生まれ、39歳。瀬戸内高校卒業後、フルタニランバーを経て、2002年良樹木材工業入社。14年に社長就任。

今週の木材建材ウイークリー
6月8日号／No.20257
業態別▽建販商社、木材専門商社＝コロナ影響は7月から▽建材問屋＝リフォーム需要が激減▽木質＝我慢を強いられる1年に▽住設機器＝ショールームビジネスに一石▽非木質建材＝営業停滞を強く懸念▽合板・ボード、機械＝2カ月近い対面営業の自粛、影響の長期化も▽外材製材＝樹種・用途によって懸念材料に差▽集成材＝需要急冷に危機感も公共事業に期待▽国産材製材、チップ＝梱包材需要縮小、建築向けは長期着工減警戒▽住宅＝受注減で年間着工激減の予測▽プレカット＝工場勤務はテレワークできず▽製品市場＝記念市・特需会の延期中止で売り上げ減▽木材流通＝工事の中断・延期で売り上げ、利益減
特集　新型コロナ緊急アンケート分析
底見えぬ需要の崖に立つ
〈4月の新設住宅着工〉4月の7万割れは9年ぶり
▽　△
本誌購読のお問い合わせは近くの本・支社局か当社ホームページ（https://jipi.jp）へ。